

令和2年度 教育活動アンケート 分析 及び 意見のまとめ

半田市立半田中学校



<集計分析>

☆文末の評価の見方 (例) ABA は教師A、保護者B、生徒A *調査なし

◎ 評価が全て「A」の項目

- 4 生徒に目標をもたせ、部活動運営を行い、心身の成長と健康の増進や技術の向上をはかっている。AAA
- 5 生徒に行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果が上げられている。AAA
- 12 正しい身なりの指導を展開し、その成果を上げられている。AAA
- 16 学級の係や清掃・給食当番等、責任を果たすよう指導・支援をしている。A*A

コロナ禍で各種行動が制限されている中、「4」「5」の項目で評価が高かったことは、生徒一人ひとりが引き続き目標をもって努力して活動を続けていることがわかります。また、服装を整えるなど当たり前のことがしっかりと意識をして取り組まれていることや、係活動や給食・清掃活動にも生徒が各自の責任をしっかりと果たせるようになってきていると感じます。生徒の成長につながるよう、支援を続けてまいります。

◎ 評価に「A」と「B」がある項目

- 3 生徒一人一人を大切にし、相談・指導を行っている。AAB
- 7 生徒に、わかりやすく、面白い授業となっている。ABA
- 9 学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果を上げられている。ABA
- 10 あいさつ・返事ができる生徒を育てる指導を行い、その成果を上げられている。BAA
- 11 「ものを大切にする」「公共美化」の指導を行い、その成果を上げられている。BBA
- 13 交通マナーやルールについて、機会あるごとに指導し、自ら安全を判断できる生徒を育成している。BAA
- 15 いじめをしない、いじめをさせないムードを学級・部活動で醸成できている。ABB
- 17 学校が楽しい。*AB

教師の学習指導や生徒・保護者への対応など学校教育の根幹をなす項目になります。
結果を真摯に受け止め、教師間の共通理解を深めて、全職員で協力しながら信頼を高められるよう努力していきます。とりわけいじめについては、結果を受け止め、早急に改善を図らなくてはなりません。いじめは起こっているものとして捉え、一人一人に寄り添い、早期発見・早期解決に努め、学校全体で取り組んでいきます。また、教師として、いじめは絶対に許さないという、強い決意を常に生徒に真剣に語り、伝えていくことを大切にしていきます。
あいさつや返事・公共マナーについては、教師と生徒に大きな意識の違いがあります。多くの生徒はできていると考えていますが、さらに目指すべき姿へ近づくよう指導していきます。交通マナーについても同様に大きな開きがあります。本年度も、自転車による交通事故が数件起きています。ひとつ間違えれば命に関わる大きな事故になっていた可能性もあります。生徒が被害者にも加害者にもならないよう継続指導していきます。

◎ 評価が「B」だけの項目

8 生徒同士・生徒と教師のつながりを意識して、研究授業の実践・参加、日々の教材研究、指導法の工夫改善に努めている。B**

14 どの生徒にも活躍の場を与え、居場所のある学級経営を行っている。B*B

授業の工夫改善については、教師の本分です。今後も教材研究や指導法改善の研修に励み、全職員で授業力向上に努力していきます。

学級経営については、生徒の満足度は若干上昇しているものの、全ての生徒の居場所を作らなければなりません。学級の生徒個々の特性や性格を把握し、活躍の場面を意識して作ることで、全ての生徒の居場所を作り、生徒一人ひとりが輝けるよう努力をしています。

◎ 評価に「C」がある項目

1 家庭・地域と連携をとるため、web ページ、通信、学校公開、家庭連絡等により、情報発信を行っている。AAC

2 家庭や地域と連携し、学校教育を行っている。地域のボランティア活動にも積極的に参加したいと考える生徒が育っている。BBC

6 生徒が個人・集団の目標を意識して生活するよう指導し、その成果を上げられている。B*C

上記「1」「2」は、家庭、地域の連携を示す重要な項目と考えています。

「1」については、全体の評価は高いものの、保護者の満足度が若干下がっています。コロナ禍で学校での活躍の場面を見る機会がなくなることにご理解をいただいているからこそ、より積極的に学校からの情報を発信し、開かれた学校を目指します。

「2」については、教師・保護者の満足度が大幅に下がっています。コロナ禍で地域との関わりが大幅に制限されていることも一つの要因とは考えられるものの、「地域行事やボランティアに参加したい」と考えている生徒が半数に満たないことは大きな課題だと考えています。来年度以降、「半田中避難所運営訓練」や、「ふくし井戸端会議(地域の独居老人家庭へのボランティア活動)」・「学校関係者交流会(授業参観をしていただき給食を生徒とともに食べる会)」などによる地域の方との交流とともに、総合的な学習の時間の中で地域貢献のあり方を考えることで、生徒たちの中に地域の一員としての自覚と、地域との連携が定着するよう工夫していきます。

また、生徒は生活や学習・運動など、日常の様々な場面において具体的に個人の目標を定めて活動をしています。目標をもって取り組むことの大切さについて、粘り強く指導していく必要があると考えます。

教育活動アンケートについて、昨年度の結果と比較しつつ、よりよい教育活動となるよう全職員で努力してまいります。今後とも半田中学校の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



<意見まとめ>

1 学習について

○テスト週間に朝の学習をしてくださり、子どもも頑張っていてやれています。

○子どもからある先生の授業が楽しく素晴らしいとよく聞きます。

△苦手な教科の補習をやって欲しいです。

△高校受験を意識するような指導をいただけると幸いです。

●学習習慣を身につけるには、課題が少ないように思います。

●毎日の課題も荷物も多すぎます。

●教科担任により、教え方に差がありすぎるのではないのでしょうか。

よりよい授業を目指すのは、教員の使命です。引き続き最重要課題として取り組み、来年度の学習指導要領完全移行や GIGA スクール構想推進にあわせて、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりや ICT 機器の活用方法など教員間で研鑽を積み授業力の向上を目指していきます。補習についてですが、テスト週間の朝の時間などを活用して、引き続き各学年で進めていきます。家庭での学習（課題）につきましては、学校のものだけでなく、余裕があればそれぞれの学習をそれぞれで考えて行えると、苦手教科の克服にもつながり進路に向けても効果的であると考えます。

2 生活面について

△荷物が多すぎて重いので、身体・交通面で危険を感じる場合があります。

△SNS の危険性・情報モラルを伝える特別授業をしてほしい。

△服装についてかなり見直しがされましたが、今後体操服やセーター等でも授業を受けて良いというように柔軟に対応していただきたいです。

△冬の登下校時、コートもしくはカーディガンを許可して欲しい。

△女子のセーラー服の下に着込む防寒方法では限りがあります。カーディガンを羽織ってはいけませんか。

△歯磨きができるようにしてほしい。間違った対策で口腔内の清潔が保てないのはいけません。

△換気・消毒・手洗い・マスク着用の徹底とともに、着衣による寒暖差をなるべく調整できるような取り組みがあればいいと考えます。

●授業中も窓を開けるそうですが寒風があたります。凍えながらの授業では集中できないのではないのでしょうか。

●登下校で自転車・徒歩ともマナーの悪さが気になります。道一杯に広がっていることが多く、自動車が通るときに危険なことが度々あります。（学校周辺で多い）

荷物の多さにつきましては、その対策として各教科・学年で学校に置いていってよいものを示しております。しかし、ご指摘のように部活の用意などを含めると重いのが現状です。今後も、改善に向けて取り組みを進めますので、様々な面からご意見頂けると有難いです。

季節による気温にあわせた服装につきましても、新型コロナ対策や生徒会からの意見も踏まえて、どうあるのが皆にとって一番良いかを考えて参ります。現時点では、エアコンにより教室を暖めつつ、授業中と放課で換気方法を変えて対策をしております。

登下校の広がりにつきましては、どうしても一斉に下校するときに広がりやすく、地域の方からもご指摘があります。これは、近年住宅街にある大規模校の毎年続いてしまう課題です。年度当初はもちろん、機会あるごとに安全安全やマナーについての指導をしております。大切なことですので引き続き指導をしていきますが、ご家庭でも、地域住民としても、見かけたときに生徒たちに声かけして頂けると効果が上がります。保護者の皆様にもご協力をお願いします。

3 部活動について

△先輩・後輩との縦割りで関係作りがとても浅くなっているように感じます。一緒に考え協力し活動する機会を与えてもらいたいです。

△顧問が経験者とそうでない者とは指導に大きな差があり、生徒達のやる気にも影響があると思います。外部の指導者を顧問にできる制度があると良いのではないのでしょうか。

●学校だけの問題ではないのですが、対外試合をやらせてあげたい。

●コロナ禍ではありますが、活動時間をもっと増やしてほしい。（多数）

生徒たちの活躍の場・努力による成長を得られる場が減ってしまうのは、断腸の思いです。ただ、部活動につきましては、ここ数年で国県市のガイドラインが大きく見直され、かつ新型コロナ対策もあり、どうしても活動時間を短くせざるを得ませんでした。また、人間関係作り、技術の向上など心身の成長に効果的である反面、ご意見にもありましたように競技等未経験者による指導や教員の超過勤務問題が浮き彫りになっています。学校だけで行うという「今の部活動の在り方」自体が見直されてきています。これらのことを踏まえつつ、新型コロナ感染状況も注視して、その時その時に応じた活動形態を教育委員会とも連絡をとりながら考えていきます。

4 職員に対して

- コロナ禍の中いつも子どもたちのことを第一に考えてくださりありがとうございます。
- 様々な問題に対応していただき、家まで来てくださってありがとうございました。
- コロナ禍で大変な中、先生には、日記で毎日コメントを書いて頂き子どもも喜んでいきます。
- 子どもが嫌がらず通学できているのは、先生方が最大の味方であるからだと思います。
- コロナ禍で毎日様々なことに気を遣い大変だと思います。どのように実施されたかはわかりませんが、文化祭・体育祭ができたことは3年生にとって良い思い出になったと思います。
- △もう少し情報開示をして頂けたらと思います。 △学年便りの内容をより充実していただけたらと思います。
- △子と親に適切な不登校初期指導をして頂きたい。伝統や慣例より今の時代にあった教育をして欲しいです。
- 「新しい様式」が叫ばれる中、先生達が既存の考えから抜け出せていないのではないのでしょうか。
- 子どもの気持ちを尊重し、親身になってくれる先生が少ない。熱意が足りないと思うことがあります。
- コロナ禍で大変だとは思いますが、時々マスクを外して話しをする先生がいるようです。

大変励まされるお言葉をいただきありがとうございます。反面、真摯に受け止めなければならないご指摘もいただきました。ここにはあげていませんが、個別に対応させていただいたご指摘もありました。プロの教師だという自覚、子どもたちの人生の一部分を預かっているという自覚をもったうえで、人間力を高めるための自己研鑽や、多くの情報を得つつ新しい挑戦をしていくことが大切です。我々職員一同、それらの自覚を再確認し、大人としてプロの教師として生徒に向き合う努力を続けていきます。

5 施設面について

- △教材や授業、手紙や調査にもっとネットを使ってほしい。
- プリント関係を早く電子化して欲しい。 ●Web 利用促進を進めて欲しい。
- 運動場をきれいにするとともに、なぜテニスコートもやらなかったのでしょうか。

GIGAスクール構想により、半田市でも一人一端末をつかっている授業が教室で可能となります。だからこそできる授業や学校活動に向けて、ICT機器の活用は、私たちにとっても喫緊の課題です。前進できる令和3年度にしていきます。テニスコート等学校の施設につきましてのご意見は、よりよい教育環境を整える為にしっかりと市の教育委員会に伝え、要望していきます。

6 行事・委員会活動等について

- 当たり前の行事が当たり前でなくなった今年ですが、先生方との絆が深まっていることを子どもの言葉で感じることができています。
- △コロナだからできないのではなく、なんとかコロナと向きあいながら行事をしてください。双嶋祭と体育祭をなんとかやって頂いたようです。修学旅行にも行かせてやりたいです。
- △行事を中止する学校と工夫して実施する学校、是非情熱と工夫で後者でお願いしたい。保護者の参観も同様です。
- 早い時期に進路説明会をやってほしかった。 ●授業参観が一度もないことが残念です。
- 双嶋祭の見学ができなかったのは残念でした。対策をとってできたのではないかと考えています。

行事につきましても、生徒たちが輝く場を無くすことはしたくないと考えています。そのため、生徒の成長を目指して、できる限りの対策をして行うことを第一の目標にしています。参観できないことが保護者のみなさんにとって、つらいこととは重々承知しておりますが、もし行事の場が密になり、それが原因で感染者がでてしまったら、学校行事は開催すら再考しなければならなくなり、授業時間にも大きな影響をあたえることとなります。進路につきましては、個々の進路を決める過程にあわせて担任よりしっかりお伝えします。行事の様子、学校の様子についてはHP等でも発信しますので、この状況化における苦渋の決断について何卒ご理解ください。

※紙面の都合で、すべてのご意見を載せることができませんでした。ご意見の多かったものや、全体にかかる内容を優先させていただいたことをご了承ください。